

◆いつ小野町へ移住しましたか？

平成6年に埼玉県から移住しました。小野町に住んで13年になるので、周囲の人には地元の人だと思われています。

◆なぜ移住しようと思いましたか？

結婚して、子育ての環境を考えたことがきっかけです。子どもを自然豊富な山の中で育てたいと思いました。

◆なぜ小野町に決めましたか？

親がいるので、関東圏からあまり遠くないところを考えました。また、比較的雪の少ないところを探しました。雑誌に小野町の物件が紹介されていて、「小野町」という町を知りました。

◆知り合いがいないところで生活するのは不安ではありませんでしたか？

地元のおじいちゃん、おばあちゃんがよく面倒を見てくれました。畑に出ていると声をかけてくれて、野菜をいただいたりもしました。また、消防団に参加したことで、地域の人と仲良くなりました。

◆小野町の印象はいかがですか？

自然が豊富で、子育てをする環境としては良い環境だと思います。働く場がもっとあれば、移住される方も増えると思います。

お忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

堺英夫さん多加子さんご夫妻



先月号でご紹介したように、町では人口拡大対策のため、移住者の受入を積極的に行っています。小野町には、田舎暮らしに憧れて、都会から移住された方が数多くいらっしゃると思います。なぜ、全国の市町村から「小野町」に住むことを決めたのでしょうか？
移住された方にお話を聞きました。

ふるさと発見ツアーが実施されました

10月20〜21日の2日間、首都圏の方に阿武隈地域の魅力を知ってもらい、定住を促進することを目的としたふるさと発見ツアーが実施されました。

福島県東中地方振興局が主催し、小野町ふるさと暮らし支援センター、田村市、三春町が協力して行ったもので、1日目は小野町のふるさとめぐりと移住者の現地視察及び懇談会が行われました。2日目は、小野町・田村市・三春町の3コースにわかれ農業体験やそば打ち体験などが行われました。

ツアーには東京都や千葉県など関東圏から20名が参加しました。昼食会場となったふれあいの森では、小町混声合唱団による歓迎コーラスが披露され、参加者のみなさんはその温かい歓迎に感激したようでした。

移住者の方の現地視察では、さかんに質問が飛び交い、田舎暮らしのイメージを膨らませていたようです。また、5名の移住者の方との懇談会も開催され、和やかな雰囲気の中、移住後の暮らしについての質疑応答が行われました。

2日目に小野コースに参加された方は8名で、青畑豆腐づく



移住者の方との懇談会



小町混声合唱団の歓迎コーラス

りとそば打ちを体験しました。自ら作ったそばと豆腐を昼食にして皆さん大変満足されていたようでした。また、畑で人参やさつまいも、ほうれん草などの収穫体験を楽しみました。
今回のツアーを通して、小野町に関心を持っていただき、個人的にまた訪れたいと言っていた方もいました。都会の方に小野町の魅力を存分に楽しんでいただいた2日間でした。